

課題

間伐材丸太による小建築

—木造都市での可能性を問う—

毎年大量に打ち捨てられる間伐材丸太という未利用資源を用いて、新しい建築を構想してほしい。

日本全国における未利用間伐材は年間約300万 m^3 を超え、間伐材全体の50%程度にのぼると言われる。日本は世界有数の森林国であるにも関わらず、建築用材の自給率は低い。豊かな森林資源が活用されず、林業は衰退し、山は荒廃を続けている。

間伐材丸太の建築によって森林資源の有効活用の道を開くことは、単に林業の再生だけでなく、サステナブルな都市を構築し、そこでの人びとのつながりを再生することに結びつくだろう。

本課題の優秀作品のうち1点はイベントにおいて実際に施工する事を前提としている。材料の寸法、接合方法、組み立て方法にも配慮しつつ、新しい建築を構想し、新しい木造都市へと導く提案を期待したい。

なお、小建築には、家具的スケールから都市的取組まで含み、その機能、立地条件等のプログラムは提案者に委ねる。

1. 表現方法

- ・ A 2判(横) 1枚に各自の提案内容に沿って自由に表現する。着色など、図面表現上の制約はない。パネル化は不可とする。
- ・ 図面以外の電子データ、模型などは受付ない。
- ・ 図面には表裏とも、氏名など個人を特定できる情報を記入しない。

2. 応募資格

大学院・大学・高専・専門学校等の学生であること。

3. 応募方法

専用の申込用紙に必要事項を記入の上、図面とともに設計競技事務局に郵送。申込用紙は図面の裏に貼り付ける。(申込用紙は木愛の会ホームページよりダウンロード)

4. 応募締切 2012年 3月21日(水)

(当日消印有効)

5. 審査委員

審査委員長：高松 伸 (建築家/京都大学教授/木愛の会会長)
ゲスト審査員：宇野 享 (建築家/CAN/大同大学工学部教授)
審査委員：古川 忠稔 (木構造/名古屋大学環境学研究所准教授)
大影 佳史 (建築-環境計画/名城大学理工学部准教授)
太幡 英亮 (建築計画/名古屋大学工学部助教)
東海林 修 (建築家/東海林建築設計事務所)
南 喜幸 (丸美産業株式会社代表取締役社長)
鈴木 和雄 ((株)東海木材相互市場代表取締役社長)

6. 表彰及び発表

最優秀賞 1点 賞状 賞金(15万円)
優秀賞 2点 賞状 賞金(7万円)
入賞 5点 賞状 賞金(1万円)

・発表

入賞者には、3月下旬に郵送で各自に通知する。
審査結果は、木愛の会のホームページで発表する。

7. 審査基準

最優秀賞または優秀賞作品のうち1点を後日、木愛の会で主催するイベントにおいて実際に施工する予定である。従って、提案性・芸術性といった評価に加えて、以下に示すような施工性が求められる。

- ・ 組立と解体が簡易であり、重機を用いずに施工できること。
- ・ 必要に応じて1/30以上の詳細図があることが望ましい。
- ・ 施工対象となる小建築の全体または部分が建築面積20 m^2 程度 最高高さ5m程度に納まる事。

8. 著作権

表彰作品の著作権は入賞者に属する。但し、主催団体がこの事業の趣旨にもとづいて、イベントでの施工、ホームページへの掲載、図書出版または展示のために用いる場合、入賞者はこの使用を無償で認めるものとする。

9. その他

- ・ 質疑応答は行わない。
- ・ 応募作品は返却しない。